

2024年9月24日  
三菱大阪・関西万博総合委員会



## 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に出展する 「三菱未来館」の全容を発表・SNS発信を開始

三菱グループ 30 社から構成される三菱大阪・関西万博総合委員会(委員長:野島 嘉之/三菱商事株式会社代表取締役常務執行役員)は、2024年9月24日、大阪府中央区伏見町の MUIC Kansai(一般社団法人関西イノベーションセンター)にてメディア向け説明会を開催し、「三菱未来館」についての進捗状況を説明すると共に、SNS 発信を開始する旨を発表しました。



この日の説明会では、同委員会の野島委員長より、三菱グループとしての大阪・関西万博にかける想いや、出展の意義についての発言があり、続いて三菱未来館の構造全容や来館者に提供する視聴覚体験の内容、更には2025年7月31日に「三菱パビリオンデー」を開催すること等について説明を行った他、映像コンテンツに関し、電通ライブ加藤監督から、映像に込めたメッセージや、進捗状況、制作体制等について、総合監修者である東京工業大学地球生命研究所関根教授からのビデオメッセージも交えながら、詳細の説明を行いました。

三菱未来館 パビリオン館内紹介映像:<https://bcove.video/3XNnjkB>

三菱未来館「Journey to Life」紹介映像:<https://bcove.video/3ZqUVGa>

総合監修 東京工業大学地球生命研究所 関根教授からのメッセージ:<https://bcove.video/3ZeHJUJZ>

最後に、同委員会早乙女大阪連絡委員会委員長(三菱 UFJ 銀行代表取締役副頭取執行役員)より、開幕に向けての応援イベントの紹介と力強い応援メッセージが述べられ、説明会を終了しました。

なお、この日の会見の中で、2025年3月1日に関係者向けの竣工式・内覧会が開催予定であり、メディア向けにも公開を計画している旨、発表しました。

また、開幕まで200日を迎える本日、公式プロモーションサイトやSNSでの情報発信を開始しました。

いよいよ、開幕まで200日。2025年大阪・関西万博、そして三菱未来館での未知なる体験に、どうぞご期待ください。

【以下、登壇者 4 名の挨拶・説明要旨(敬称略)】



三菱大阪・関西万博総合委員会  
委員長 野島 嘉之(三菱商事常務執行役員)

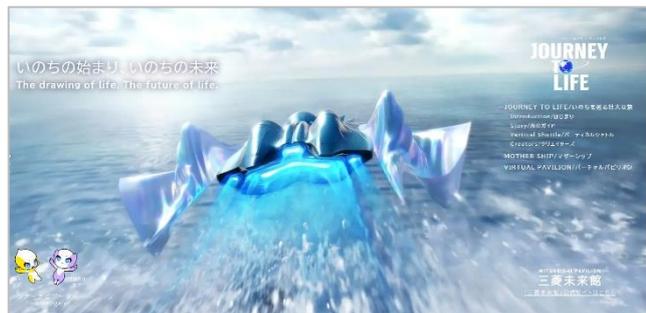
「今日は、大阪・関西万博の開幕まで 200 日を明日に控えまして、三菱グループが万博に参加する想いや意義をお話すると共に、三菱未来館について、パビリオン構造の全容や体験頂くコンテンツの内容を更に詳しくご披露し、多くの皆様にご来場頂くよう、お願いに参りました。併せて、2025 年 7 月 31 日に三菱パビリオンデーを開催し、多くの若い世代の方々を主役とするイベントを行い、大阪・夢洲の地から世界に向けた発信を行う計画であることを

発表致します。

三菱グループは、未来館並びにパビリオンデーを通じて、万博出展コンセプトである、『いのち輝く地球を未来に繋ぐ』を実現するべく、更に準備を進めて参ります。」

三菱大阪・関西万博総合委員会  
事務局長 小美野 一

「三菱未来館は、地下空間を有する 2 階建て構造であり、2 階には 100 名定員のメインショウシアター『ヴァーティカルシャトル』2 室を備え、深海から宇宙までの 7500 万キロの旅—JOURNEY TO LIFE を体験頂くことを発表致します。又、本日、三菱未来館のプロモーションサイト並びに SNS での情報発信を開始すると共に、ナビゲーションキャラクターやシンボルマークを公開致しますので、引き続きのフォローとご愛顧を宜しくお願い致します。」





### 電通ライブ

チーフ・クリエイティブディレクター 加藤 友之

「三菱未来館では『未知なる深海から遥かなる宇宙へ、いのちを巡る壮大な旅-JOURNEY TO LIFE』を実体感頂けるような没入型の大型映像コンテンツを制作しており、来館者の皆さんは、いのちの起源やその広がり、そしていのちの宇宙への進出など、さまざまな「いのち」をめぐる驚きの場面や出来事に遭遇します。まさに冒頭からラストまでハイライトの連続です。

コンテンツ制作では、アストロバイオロジー研究の第一人者である 東京工業大学 地球生命研究所 所長 関根康人教授に総合監修をお願いし、映像制作は、日本のみならず、オーストラリア、タイなど、万博にふさわしいグローバルな制作体制により、「科学」と「エンターテインメント」を組み合わせ、三菱未来館でしか見ることのできない、最高の映像体験を提供致します。」

### 三菱大阪・関西万博総合委員会

大阪連絡委員会委員長 早乙女 実

(三菱UFJ銀行副頭取)

「大阪・関西万博開幕に向けての機運も、先行する大阪の熱気が全国に波及し始める鼓動を感じています。

2025 年大阪の地で国際博覧会・万博を開催し、世界中の人たちが「いのち」を考え・学び・繋ぐ場を実現する、その一翼を担うことが私達三菱グループの使命であると思い、今後の準備に邁進致します。

又、来る 10 月 25 日からは、応援事業『MUFG“推しパビプロジェクト for EXPO2025』を開催し、万博に向けてのワクワク感醸成と三菱未来館を『推しパビ』にして頂くイベントを開催致しますので、こちらへのご来場もお待ちしています。残り 200 日、大阪・関西万博、三菱未来館にどうぞ、ご期待下さい。」



## パビリオン：三菱未来館 (Mitsubishi Pavilion)

コンセプト：いのち輝く地球を未来に繋ぐ ～Keeping the World Vibrant～

三菱グループは、万博を通じて地球規模に広がる諸問題への取組みとソリューションを示し、未来世代に「いのち輝く地球」を引き継ぐ使命を担っていきます。

## パビリオン 建築・展示 概要

建築設計コンセプト：生命・地球・人間のつながり  
敷地面積：約3,500㎡、延床面積：約2,100㎡  
構造・規模：鉄骨作り、一部木造  
建物設計：三菱地所設計  
建設施工：竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体  
建築着工：2023年7月(竣工2024年10月)  
展示内装工事：2024年10月～12月  
展示設計：電通・電通ライブ  
展示スタイル：体感シャトル型シアター※  
※プレショー、メインショー、ポストショーの3部構成  
圧倒的リアリティ・迫力・スピード感・浮遊感を来館者  
全員が共有する非日常体験シアター



パビリオン外観イメージ



プレショー・メインショー・ポストショー イメージ

## パビリオン 展示 内容

テーマ：「いのちの始まり、いのちの未来。」

## Journey to Life

～未知なる深海から遙かなる宇宙へ、  
いのちを巡る壮大な旅～

生命 × 科学 × エンターテインメント

最新の学術研究を背景に、エンターテインメント的な  
演出表現を駆使し、地球と生命に迫ります。

※パビリオン詳細については、公式サイト、  
Journey to Life プロモーションサイトを参考ください。

## ➤ ホームページ URL

三菱未来館 公式サイト <https://www.mitsubishi.com/ja/expo2025/>Journey to Life プロモーションサイト <https://miraikan-expo2025.com>

## ➤ 公式 SNS アカウント

X <https://x.com/mitsubishiexpo>Instagram <https://www.instagram.com/mitsubishiexpo/>Facebook <https://www.facebook.com/profile.php?id=61565491692576>YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCLdiBl4-bf5eZCkFsaRrpjQ>MITSUBISHI PAVILION  
三菱未来館公式サイト  
QR コード

「三菱大阪・関西万博総合委員会」構成30社（2024年9月24日現在）

三菱重工業 株式会社  
株式会社 三菱 UFJ 銀行  
三菱商事 株式会社  
三菱電機 株式会社  
三菱地所株式会社  
東京海上日動火災保険 株式会社  
明治安田生命保険 相互会社  
三菱 UFJ 信託銀行 株式会社  
麒麟ホールディングス 株式会社  
ENEOS ホールディングス 株式会社  
三菱マテリアル 株式会社  
AGC 株式会社  
三菱自動車工業 株式会社  
三菱 UFJ 証券ホールディングス 株式会社  
三菱ふそうトラック・バス 株式会社  
三菱ケミカルグループ 株式会社  
三菱ガス化学 株式会社  
三菱倉庫 株式会社  
三菱製鋼 株式会社  
三菱製紙 株式会社  
三菱化工機 株式会社  
日本郵船 株式会社  
株式会社 ニコン  
株式会社 三菱総合研究所  
株式会社 ローソン  
三菱プレシジョン 株式会社  
大日本塗料 株式会社  
田辺三菱製薬 株式会社  
三菱電線工業 株式会社  
西日本三菱自動車販売 株式会社

▶ 問合せ先：三菱大阪・関西万博総合委員会 事務局 email : [miraikan@mitsubishiexpo2025.com](mailto:miraikan@mitsubishiexpo2025.com)